

穴埋め

答案用紙の空欄に書くこと。番号を間違えないように注意！

- [1] 人間が経済活動しているということは、人間が (したがって生命活動、生活) を自分自身で、効率的かつ社会的に運営しているということを意味する。(ヒント：四文字。他の生物も行っている活動)

物質代謝

△代謝活動：1

- [2] あるていど生産力水準が発達したどの人類社会でも、人々は毎期の自分の生活に必要な生産物を越える余剰部分を生産する能力を持つ。江戸時代の年貢、現代社会の利潤などに見られるこの余剰部分のことを という。(ヒント：カタカナ5字)。

サープラス

- [3] 商品が無償譲渡されるのではなく交換されるということは、商品が社会的な有用性だけではなく、社会的な (市場××) をもっていないなければならないということを意味する。

価値

- [4] 掛け売買の場合には、商品譲渡が完了した後に、債権 関係が残っている。(ヒント：二文字。債権と対になる言葉)

債務

- [5] 電子マネーの中で、現金あるいは預金をあらかじめチャージしてから、この価値を引き出す形で用いるもののことを 型電子マネーという。

プリペイド

△プリペイドカード：1

- [6] 高い強度の労働と通常の強度の労働との区別は (つまり労働する能力) の区別ではない。

労働力

△生産性：1

△生産力：1

- [7] 労働基準法上、労働者に時間外労働（残業）をさせた場合には、この時間外労働については 賃金が支払われなければならない。

割増

- [8] 固定資本について、部分的な価値移転に応じて、将来の更新のために回転期間ごとに売上の中から基金を積み立てておくことを 償却基金の積立という。

減価

- [9] 【計算問題】ある資本について、その資本の流動資本部分の回転期間が3ヶ月だと仮定する。この資本の回転速度は年に 回である。

4

- [10] 【計算問題】もし一日当たり、また労働者一人当たりについて、新価値（付加価値）が20000円、労働力の価値が8000円であるならば、剰余価値率は %である。

150

△15：0.5

論述

答案用紙の余白に書くこと。どの問題に答えているのか、必ず番号を書くこと。

- [A] 所有とはどういうものなのか、単なる対象支配との違いを、具体例を挙げて説明せよ。また私的所有とはどういうものであるのか、具体例を挙げて説明せよ。

所有とは、単なる対象支配とは違って、社会によって承認されているような、対象支配である。〔具体

例は省略]

私的所有とは、〔私的個人による〕排他的な所有である。〔具体例は省略〕

所有：E：5点（うち例は2点）

私的所有：P：5点（うち例は2点）

[B] 決済において(1)現金通貨が使われている場合と、(2)預金通貨が使われている場合とを、具体例を挙げて説明せよ。必ず、曖昧にではなく明確に、他方の例ではないということを示す例を取り挙げることを。

【省略】

現金通貨の例：C：3点

預金通貨の例：D：7点

[C] 会社企業とはどういうものなのか、資本主義的営利企業の中で会社企業と個人企業との違いを、具体例を挙げて説明せよ。そして会社企業の中でも株式会社企業はどのような特徴を持っているのか、株式会社企業と合名会社企業との違いを、具体例を挙げて説明せよ。

会社企業と個人企業：C：5点

株式会社企業と合名会社企業：J：5点

資本主義的営利企業について、個人企業がたった一人の資本家しかいないような企業であるのに対して、会社企業は数多くの資本家が結合しているような企業である。

合名会社企業とは、資本家が全員、無限責任を負っているような会社である。これにたいして、株式会社企業とは、資本家が全員、有限責任しか負わないような会社である。

会社企業と個人企業：C：5点

株式会社企業と合名会社企業：J：5点